

希望が浮かぶ平日
の丘の上 街の明
かりを見下ろして

綺麗な透き通った水色の勾玉（まがたま）を紫の風呂敷の上に寄せ、魔術師は呟いた。

コンビニ、ビルの立ち並ぶ繁華街の歩道。

あなたは今後3年間、とても気楽で晴れやかな日々を
過ごすでしょう。

ミヤトは、世話しなくギスギスした会計の仕事に陰鬱
な心持だったため、救われた気がした。

帰り、ミヤトは
車を大きな木が二つ並ぶ砂地に停め丘の上を上がっ
ていった。

まっすぐな道であった。

そこは切り立った崖であった。

「もっともっと」

体験版は以上になります。ご読了ありがとうございます。
した。